

特定非営利活動法人

日本雲南聯誼協会

【本部】〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1

JR東急黒ビル7F

Tel. (03) 5435-5977 Fax. (03) 5435-5978

Email:yunnan@jyfa.org

URL:<http://www.jyfa.org/>

【雲南事務局】雲南省昆明市人民东路289号集大广场20层2011室

Tel. +86-871-3311468 Fax. +86-871-3320658

編集・発行人 初鹿野惠蘭

印刷協力 梅日経印刷 梅技術評論社

Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

会報

第22号

発行日 2007年(平成19年)1月1日

謹んで新春の
ご祝詞を申し上げます

理事长 初鹿野惠蘭 嘉務理事 杉谷隆志



皆様には、新春をさわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、協会に対し温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

元旦の朝、初日の出の風景は神々しく、万物が爛漫と輝き、天地開闢のように雄大に見えます。協会の歴史も、早いもので足掛け七年になります。皆様のご協力の下、充実した一年を送ることができ、昨年は三校の小学校を建設、日本と雲南の両で活発で意義のある活動を行うことができました。グローバルフェスタをはじめとする国内の活動では、多くのボランティアが活躍し協会を支えてくれました。地道で着実、誠実な活動をという、協会の方針が日本政府から認められ、本年支援していただくことになりました。また、日本財団アジア教育協力事業からも支援を受けており、2007年はさらに飛躍の年となることと期待をしております。

過ぎ去った年と新しく迎える年への感謝の念を新たに。

信念芽吹く、大きな邁進の一周年となりますよう願っております!

皆で創り出す
魅力ある協会
誇れる活動



日本朋友、新年好!
(日本のみなさん、新年おめでとう!)
第14校目
阿央谷小学校の着工式にて(雲南省迪慶チベット族自治州シャングリラ県)

ご寄付をいたきました

(2006年4月~12月期
種別:販売)

藤原一/種谷道場/芝祐順/中村登/加藤博/小室順子/新木元治/草川徹/角地和彦/原田啓/川連明香/真砂泉/湯浅康司/初鹿野仁/株式会社技評論社(『独龍江で学校を持つ子どもたち』書籍完売)/樋口忠治/片岡巖/矢田部慎夫/森本敏子/松村和香/永谷彬/瀬廣一美/佐藤修子/和田美津子/朱珠/浅井美恵子/石川淳二/吉良童夫/近藤森雄/中村哲/官多見規子/喜多見洋/大橋幸雄/山田きよの/藤井昭昭/木村哲也/友井正男/山本陽子/須田悦生/河野宏和/石森恵子/NPO天真会/今吉哲人/杉谷隆志/足立幸雄/藤多庸雄/恩田美智子/安仁屋政武/下道國/大崎功雄/松澤安夫/谷律子/長谷隆志/中前幸惠/陳裕/歌川榮子/増井武彦/JR純連/七田誠/加藤毅/岡隆史/氏家孝/初鹿野道子/初鹿野鶯/三水葦/森勝男/加茂前秀夫/小山功/柴家嘉明/岡本円/岡村しおり/浪岡孝志/桂正徳/森川弘道/大塚恵子/小林稔/中田悦雄/浦田峯子/田村豊/中村清源/大泉国雄/竹本淳一郎/中村有里子/小澤文穂/早川香子/鹿島茂/田村静子/芳賀保夫/山本雅/西原正/狩野伸洋/野崎義弘/原田啓/富田玲子/森睦夫/川越高等学校/住デザインオフス(高橋一成)/西部ガス株式会社/日本放送協会(NHK)/株式会社明光V/神立めぐみ/松山英佐子/鈴木暉/奥脇弘久/登坂征一郎/野坂道子/北原茂実/真鍋公俊/曾我日出夫/狩野信子/川口幸二/小池洋子/北原豚絆外科病院/アジア教育友好協会/鍛原寛司/(財)一つ橋総合財団/高田博光/安達武史/澤田和子/田村英一/小山巖太/青木幹雄/吉田しのぶ/山本和広/JR東労組大宮/藤田文彦/遠藤功/榎楠/東都浩/遠間業津子/糸山敏和/山本巖/伊原隆子/大塚由子/峰尾勝美/峰尾洋子/鈴木修一/唐津英安/三井博康/中川美保/能見広伸/野々山尚義/山下信二/増山章/高田良一/小林尚礼/加藤誠/古澤正夫/村松健兒/初鹿野恵蘭/七田怜/狩野千尋/各種バザーでの募金 ご支援ありがとうございます!

雲南を彩る
25の星たちのお正月

連載 第7回
ナシ(納西)族

「新年好!」今回はナシ族のお正月をご紹介。ナシ族の旧正月は、民族色が非常に濃い。大晦日に鶏を殺し、犬に肉をたっぷりあげ、豚の頭を祖先に供える。元旦は肉を一切食べず、家族全員おかずとお酒を持って先祖のお墓参りをする。正月2日目は水で全身を清め、3日目は天を祭る儀式を行う。儀式は村全体で行い、子孫の繁栄、五穀豊穣を祈る。正月の15日間は一切仕事を休み、家で団欒する以外にもしないで過ごす。若者はそれぞれ地域で盛大な祭りを行う。

ナシ族の人口は中国全土に約31万人。主に雲南省麗江市とその周辺区域に集中的に居住している。使用言語はナシ語。ナシ族にはもともと表意象形文字の東巴文字と、表音音節文字の西巴文という2種類の文字が存在した。1957年、ローマ字を基礎とするナシ表音文字が出現。ナシ族は、多くの神を祭るトンバ教を信奉してきたが、ラマ教、道教、キリスト教を信奉している者も少数だが存在する。



雲南省ってどこですか?



雲南省は中国最西南部に位置し、ミャンマー、ラオス、ベトナムと国境を接しています。面積は約39万km²(日本とほぼ同面積)、人口約4300万人です。土地の94%が山地で、海拔76mの滇南河口から6740mの梅里雪山という高山も存在する特色豊かな地域。世界遺産登録地も多く、最近では観光面からの注目を浴びています。

支援第10校目高安治学校開校式

雲南・麗江の小学校開校式に臨んで

九州大学名誉教授

久留米大学附設高等学校 校長 横口忠治

2006年10月10日は私にとって忘れがたい、意義深い一日となりました。というのは、かねてより、日本・雲南聯誼協会を通じて、雲南省少数民族の小学校建設支援をしたいという申し入れをしていましたが、ようやくその小学校の建築工事が完成し、その落成式が行われることになったからです。

成田から広州経由で昆明に到着した協会主宰のツアーワークと合流して、翌日の朝私達は麗江空港に降り立ちましたが、あいにく玉龍雪山の中、その秀麗な姿にはお目にかかるのが残念でした。さっそく私達一行は空港に待機していたマイクロバスに乗り込んで、「通い婚」で有名なモソ族の母系社会を訪れるため、ルグ湖めぐらして出発したのです。高い山を幾つか越え、深い谷間に下りてはまた登り、ようやく目的地の湖畔に到着しました。美しい湖のほとりの宿舎に泊まり、その夜は焚き火の明かりに照らされて、モソ族の歌と踊りを楽しみました。

翌日は朝早く起きて、昨日来た道を再び麗江へと戻ってきたのですが、さすがに少し疲れ気味で、ホテルに着いた頃には口数も少なくなっていました。この日の午後、私達は少数民族の歌と踊りのショーを観ましたが、これはとても素晴らしいものでした。

(右上へづく)



新しい校舎の前で記念撮影 先生、児童はじめ村人総出での大歓迎ムードに一同感激



子どもと一緒に座って開校式に臨みます



大勢の外国人にちょっぴり驚いて



真新しい教室を見学 電気が通って明るくなりました



笑顔の横口さんとお母さんたち



小澤さんはすっかり男の子たちと仲良くなっていました

校門や校庭には松の葉が飾られ、子供達は手拍子で迎えてくれました

ナシ族、ペー族のダンスを全員で

シャンギリラで小学校2校の着工式



2006年10月11日、シャンギリラは朝からどしゃぶりの雨。気温も下がり、息が白くなるほど冷たさの中、当協会支援校第13校目となる共卓小学校、第14校目となる阿央谷小学校の着工式がそれぞれの建設予定地にて開催され、初鹿野理事長および事務局スタッフ、開校式ツアーパートicipantが参列しました。当日、遠方のお客様を迎えると寒空の下2時間も前から子供や村人たちが待っていました。

共卓小学校と阿央谷小学校は、共に雲南省迪慶チベット族自治州シャンギリラ県小中甸にある小学校で、8月の協会スタッフの調査、日本財團アジア教育協力事業の資金援助を受け、建設が決定しました。今回共卓小学校の着工式が行われたのは、移転予定地である草原の真ん中。一行が到着すると、何もない草地には華やかなチベット族の衣装をまとった子供と村人たちが、笑顔で出迎えてくれました。この日の着工式では、アジア教育友好協会の仲介により、日本福井県にある成器西小学校とのフレンドシップ協定も結ばれ、その調印式も行われました。福井県の子供たちが作成した粘土の作品や、共卓小学校の子供たちへ宛てた手紙、習字などがひとつひとつ手渡され、それらを紹介するたびに村人からは笑いや歓声がおこりました。気温は冷え込んだものの、暖かい思いでいっぱいの着工式でした。式を終えて、車に乗りこむ参列者一行を、子供たちや村人がいつまでも見送ってくれました。



降りしきる雨の中着工式がはじまりました



日本本の小学校から贈呈

授業中の子どもたち



また来年の開校式で会おうね!

【ツアーパートicipant 太田洋子、小澤文穂（期間）、狩野信子、白木恭一、横口忠治（期間）、初鹿野理事長、七田恵、狩野千尋】



老朽化した阿央谷小学校の校舎

シャングリラ 着工式写真集

雨が降り息の白くなる寒空の下、子どもたちのチベットダンス、鼓笛隊が温かく出迎えてくれました



写真上段左から
1) 先生たちのダンス
2) はにかんだ子どもたちの笑顔
3) よろこびの舞い
4) 福井県成器西小学校とのフレンドシップ協定式

下段左から
1)建設予定地で
2)伝統の衣装をま
　とって
3)チベット風に基
　づく神聖な着工式
　それを多くの村人
　が見守りました
4)寒さのあまり辺境
　出してしまった子
　供もいました



ボランティアの皆さん、
2日間ご苦労様でした！

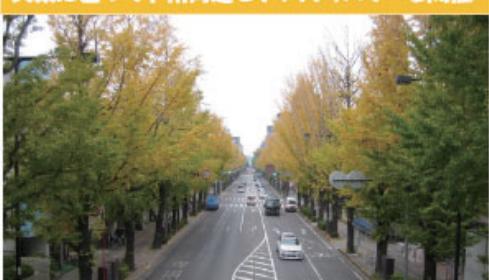


ボランティアたちの笑顔の店番姿
もうすっかり協会の一員！



素敵な民族衣装ねえ！サニ族姿の
藤さんの周りには常に人だかりが

八王子いちょう祭り



「雲南省の手作り雑貨はいかがですか？」11月18・19日の週末、東京八王子甲州街道にて「八王子いちょう祭り」が開催され、当協会も雲南銘茶「アル茶」や少数民族雑貨を携え出展しました。黄金色に輝く銀杏並木の下、甲州街道には人がひっきりなしに行き交いました。八王子に出現した雲南省の鮮やかな色彩は、たくさんの人の目を魅了したようで、客足は途絶えることなく、アル茶の試飲コーナーも常に笑い声が溢れていました。2日間の売上は、8,322円。売上金・寄付金は協会の教育支援活動の原動力として大切に使わせていただきます。今回のいちょう祭りでは、八王子在住の当協会会員・峰尾勝美さんが出展場所探しや備品の準備、たて看板の作成など大きな協力をしてくださいました。また、出展場所を提供してくださった家主・小島さん、ボランティアの皆さん、遊びに来てくださった会員の皆さん、荷物搬入・撤収作業に協力してくださった桂理事、ありがとうございました！



いとう祭りのコースは、ブームアリ茶を飲んだり地酒を呑む楽しめる人気イベント（両方2ヶ所）、井澤へ来たらココでスティック

「グローバルコースター」(いたゞ祭り・世界の未来のコースティバル)（1.0／1月川にて開催されましょ）を、開港準備参加ボランティア（歓迎会）

【クローバルフュンタ】いよいよ祭り、世界へ未だ未だアスハイアード【5品目】にて開催されました! 開連準備多加ボーナス! 大冢由子、岡山隆史、辯野信子、木村由利枝、木村鶴代、小山巣鷹、近藤鶴一、高田良一、藤原道、遠間英翠子、林千鶴、大野桃、武玉江、ズカウリ、アリエ、李晶、峰尾勝美、上田祐子、桝多枝子、山口悟正【21世紀のカンジョギア】を支援する会理事。

小島「（会場をお貸しくださいました）、初鹿野仁・桂正祐、初鹿野忠華理事長、事務局スタッフ（七田・狩野）【新たな資金調達機関団体】　～おとよみ～登壇（元「東京証券取引所」LD事務局大室・IP事務局 LD事務局横田大室

協会トップニュース

雲南懇話会～初鹿野理事長独龍族の講演～

東京／12月9日

文化交流

東京市ヶ谷のJICA国際協力総合研修所にて、第4回雲南懇話会が開催され、その中で初鹿野理事長が講演をしました。この日の参加者は80名ほどの大盛況。懇話会は、雲南省の最高峰・梅里雪山（6740m）を中心とする「雲南・チベット地域」と周辺地域の総合的な研究を進める目的で2004年に発足。懇話会の会長・安仁屋政武さんが当協会会員であることや前回の懇話会に参加したことが縁で、今回、講師として招いていただきました。

初鹿野理事長は2004年に独龍江地域に入り小学校視察をした際の写真を中心に、その行程でのエピソードや、独龍族にまつわる歴史や文化の紹介を行いました。時には笑い声がおこる、リラックスした雰囲気の中での和やかな講演となりました。終了後の交流会でも、多くの雲南好き、山好きが集まって楽しく交流することができ、気がつけばあつという間のひとときでした。懇話会において準備などのやりとりで細かく心配りくださった雲南懇話会・前田栄三さんに心より感謝します。



大きなスクリーンを使っての講演

四日市大学の呼びかけで募金活動始まる

三重県／11月

教育支援・交流



生徒たち手作りの掲示物がとても素敵

「中国雲南省の子供たちへ、募金をお願いします！」当協会法人会員の四日市大学・留学生支援センター（センター長・西牧義江先生）の呼びかけにより、三重県立川越高校・曉高校の生徒、四日市大学留学生会の留学生の皆さん、当協会への募金活動を実施しました。生徒たちが手作りした展示パネルはどれも立派で、文字の一つ一つからも温かい想いやりの気持ちと、ボランティア活動への熱意が伝わってきます。協会の活動は、こうした皆さんの陰からの支えがあってこそ活性化してゆくのだと胸の熱くなる思いがしました。募金活動の実施を提案してくださった西牧義江先生はじめ四日市大学留学生支援センターの皆さん、募金活動を行ってくださった高校生、留学生の皆さん、ありがとうございました！

日本財団の公益ブログ祭に参加しました

東京／11月15日

文化交流

日本財団にて「日本財団・ブログ祭」が開催され、初鹿野理事長、スタッフ狩野が出席いたしました。ブログ祭は、日本財団が運営する公益コミュニケーションサイトCANPANブログの利用者のための交流会で、当日、会場には活動も種類も様々な団体・個人が集い、ブログについての意見を交換し合いました。

当協会でも、さっそく活動内容の見える団体を目指し、ブログ「雲南の郵便屋さん」を始めました。是非、皆さんのお問い合わせを事務局までお寄せください！



会場では吉澤が拝みます

協会ブログ

みんなのための
みんなの日記更新中！

雲南の郵便屋さん

<http://blog.canpan.info/yunnan/>

歌とダンスで文化交流したい！

東京／10月26日

文化交流

法人会員としていつも温かい支援を寄せてくださっているダンススクール「ブランニューダンスマーケット」の見応伸さんが、オリジナルCD発売記念のライブ＆ダンスショーを開催し、初鹿野理事長と事務局・七田が会場に駆けつけました。

優しいパラードと迫力あるダンスで胸が熱くなったり、と初鹿野理事長。ブランニューダンスマーケットの皆さんは国際協力活動への关心も高く、今後は、国境を越えて心を通じさせることのできる迫力のステージに観客は魅了されましたるダンスを通して、雲南少数民族と交流したいと考えているそうです。言葉の壁を越えての文化交流を、当協会も全面的に支援したいと思います。



中国建国祝賀会で協会の活動をアピール

東京／10月1日

文化交流



10月1日の中国の建国節（建国記念日）を祝う「中華人民共和国建国57周年祝賀会」（中国駐日大使館主催）に、事務局の七田が参加してまいりました。この祝賀会には、日本の政府、経済、教育、文化、科学技術、報道関係、友好団体の代表や、在日華僑、留学生、中国系企業の代表ら2000人近くが招かれ出席しました。

ユニセフで子ども達への支援活動を精力的に行っているアグネス・チャンさんや、神奈川県日中友好協会の高良真木副会長などと活動についてお話しすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。他にも、マスコミ、企業など様々な分野の方々と交流し、協会の活動を紹介するチャンスが持てとても嬉しかったです。協会の活動がもっともっと多くの人たちへ影響し浸透してほしいと改めて感じた1日でした。

「春城」昆明事務局の忘年会を開きました！

雲南省昆明／12月9日

文化交流



12月9日、昆明事務局の忘年会を開催しました。春節（旧正月）を祝う習慣のある中国では「忘年会」といってもまだまだ年の暮れの季節感はありません。そんな中、昆明在住の会員15名を含め、日本商工会や留学生中心の一金会、その他仕事や研究、退職後の昆明在住者40名ほどが集まり、白族料理を囲んでの楽しい親睦会となりました。

昆明では、協会の会員に限らず、そこに暮らす人が集まり、情報交換、互助活動も自然に培われています。協会の昆明事務局もそういった面で皆さんを結ぶ窓口として、これから活動していくべきと思っています。忘年会の最後には、全員で日本の唱歌「ふるさと」を大合唱し、日本と雲南両地への想いを馳せつつ、お開きとなりました。

※ブログとは？ブログとはサイト形式の日記のこと。記事に対して閲覧者が感想を「コメント」という形で投稿することができるため、作成者と閲覧者が近い距離で交流することができる可能性になります。

【雲南の郵便屋さん <http://blog.canpan.info/yunnan/>】



医療法人社団 北原脳神経外科病院

ISO9001:2000認証取得



北原脳神経外科病院は日本・雲南聯誼協会の活動を応援しています

■外来時間

平日・土曜／午前8時30分～12時30分

午後2時00分～4時30分

日曜・祭日／休診

※急患は24時間受付致します。

お気軽にお電話下さい。

● 救急・手術から在宅・リハビリまで 一貫した医療の提供

● 平成19年4月 循環器センターオープン！

〒192-0045 東京都八王子市大和田町1-7-23

Tel. 0426-45-1110 Fax. 0426-45-1140 ホームページ <http://www.kitaharahosp.com>

※交通案内 JR中央線八王子駅北口・京王線京王八王子駅より、京王バス「豊田駅北口駅行」または「日野駅行」にて約10分「大和田2丁目」で下車、徒歩3分（バス停に当院までの案内図あり）